

<第72回調査>

2015年05月25日

【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

【調査実施期間】

2015年05月12日(火)13:00~2015年05月19日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

【調査方法】

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。

今回の有効回答数は901件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

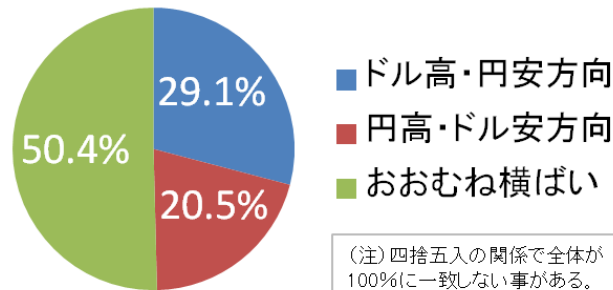
Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第72回調査結果略報：米ドル/円、半数が膠着を予想】

問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が29.1%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は20.5%であった。この結果「米ドル/円予想DI」は+8.6%ポイントとなり、前月の+5.1%ポイントから大きな変化は見られなかった。調査期間中の米ドル/円相場は、120.20円台から118.80円台へと弱含んだ後、120.00円台まで持ち直すなど、方向感に乏しい展開であった。4月以降は、118円台～120円台のレンジを抜けられずに彷徨っており、そうした相場展開の中で個人投資家は相場見通しを中立化させているようだ。なお、「おおむね横ばい」と答えた割合が50%を超えたのは2012年1月の第32回調査以来であり、この先も相場が膠着するとの見方が増えている事がわかる。※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。

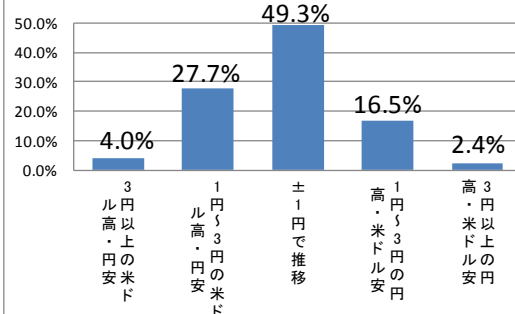
今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「±1円で推移」と答えた割合が49.3%と最も多く、「1円～3円の米ドル高・円安」が27.7%、「1円～3円の円高・米ドル安」が16.5%と続いた。「3円以上の米ドル高・円安」は4.0%、「3円以上の円高・ドル安」は2.4%であった。ヒストグラムの形状も、それぞれの回答割合もほぼ前回と同様であり、個人投資家の見通しが1カ月前からほとんど変化していない事がわかる。なお、こうした見通しに基づいて118円台は「買い」、120円台は「売り」というレンジ取引を行う個人投資家が少なくなかったが、調査期間終了後の20日には一時121円台へと上昇している。「想定レンジ」を上抜けつつある中で、個人投資家の動向がどのように変化するのか、今後の相場動向と調査結果が注目される。

今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

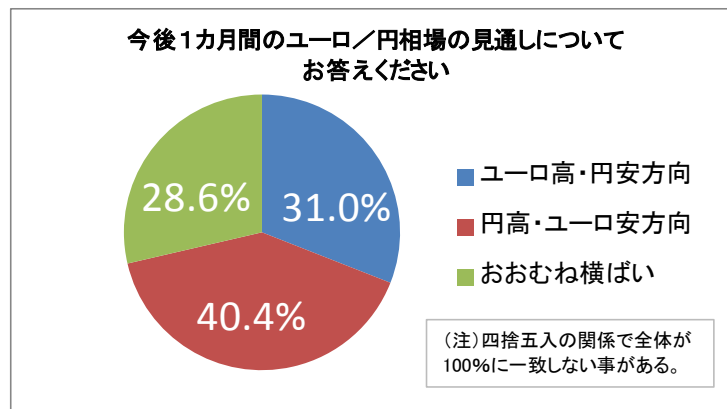


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が31.0%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が40.4%であった。この結果、**ユーロ/円予想DIは-9.4%ポイント**と、前月(-43.9%ポイント)からマイナス幅が縮小した。調査期間中のユーロ/円相場は、一時約4カ月ぶりの高値となる136.958円まで上昇しており、126~128円台で推移していた1カ月前に比べ10円前後も上昇している。そうした相場展開を目の当たりにした個人投資家は、ユーロ弱気見通しを大きく後退させたものと考えられる。

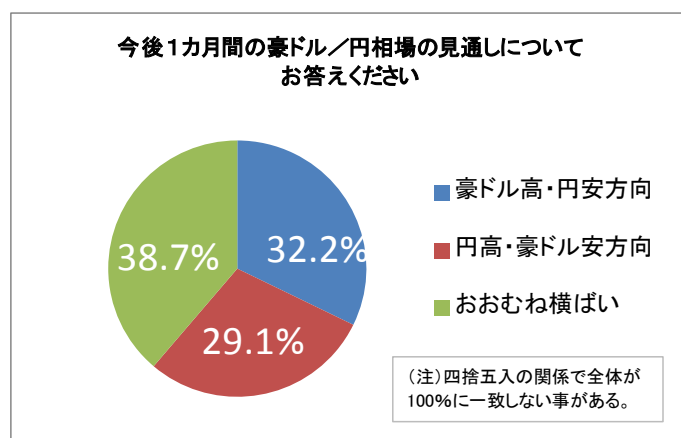
※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が32.2%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は29.1%であった。この結果「**豪ドル/円予想DIは+3.1%ポイント**と、6カ月ぶりのプラスDIとなった。調査期間中の豪ドル/円は、世界的な株価の上昇や原油価格の持ち直しなどを受けて一時約4カ月ぶりの高値となる97.298円まで上昇する場面があった。一部には「利下げ打ち止め観測」が浮上している模様だが、予想DIのプラス幅はわずかに留まっており、個人投資家らの豪ドル強気姿勢を完全に復活させるほどの説得力はなかったようだ。

※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。

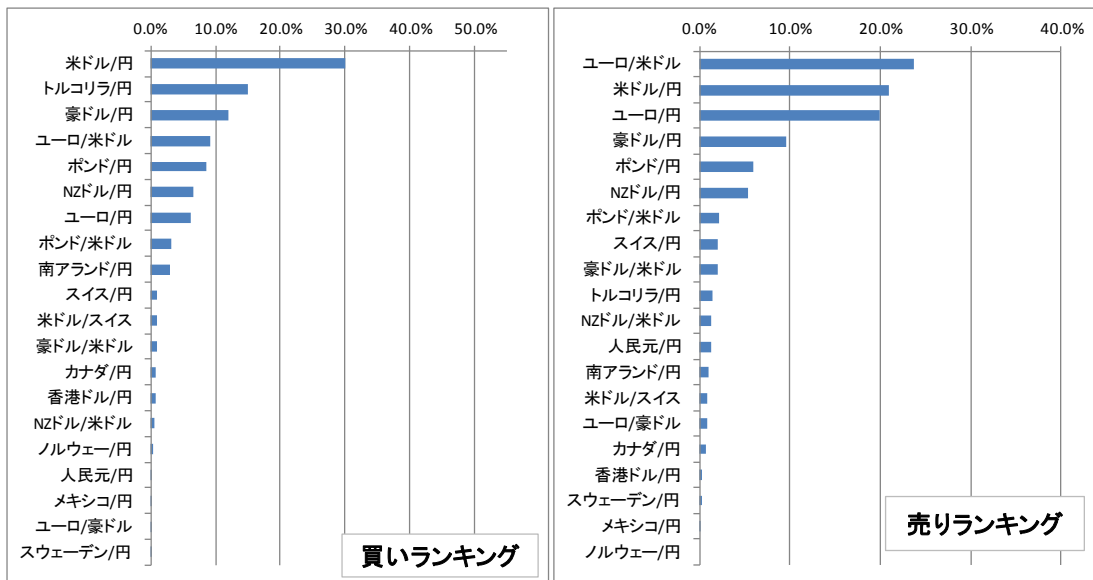


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が30.0%の回答割合を集めて第1位をキープした。以下、2位トルコリラ/円(15.1%)、3位豪ドル/円(12.0%)、4位ユーロ/ドル(9.1%)、5位ポンド/円(8.7%)、と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位ユーロ/米ドル(23.8%)、2位米ドル/円(21.0%)、3位ユーロ/円(19.9%)、4位豪ドル/円(9.7%)、5位ポンド/円(5.9%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、米ドル/円が32回連続で1位となったが、回答割合は前回の43.0%から大幅に低下した。また2位には自己最高位となるトルコリラ/円が入り、1位との回答割合の差を14.9%に縮めた(前回2位は豪ドルで1位との差は32.0%であった)。トルコリラ/円は調査期間中に46円台を回復するなど、4月27日に付けた43.444円の安値から切り返しており、6月上旬に予定されている総選挙後の上昇加速に期待がかかっているようだ。また、「売り」で注目の通貨ペアは9カ月連続でユーロ/米ドルが1位となっており、ユーロへの信認はなお低い事が示された。ただし、前回から回答割合が低下(前回は31.0%)しており、弱気度合いが低下している様子も同時に窺える。



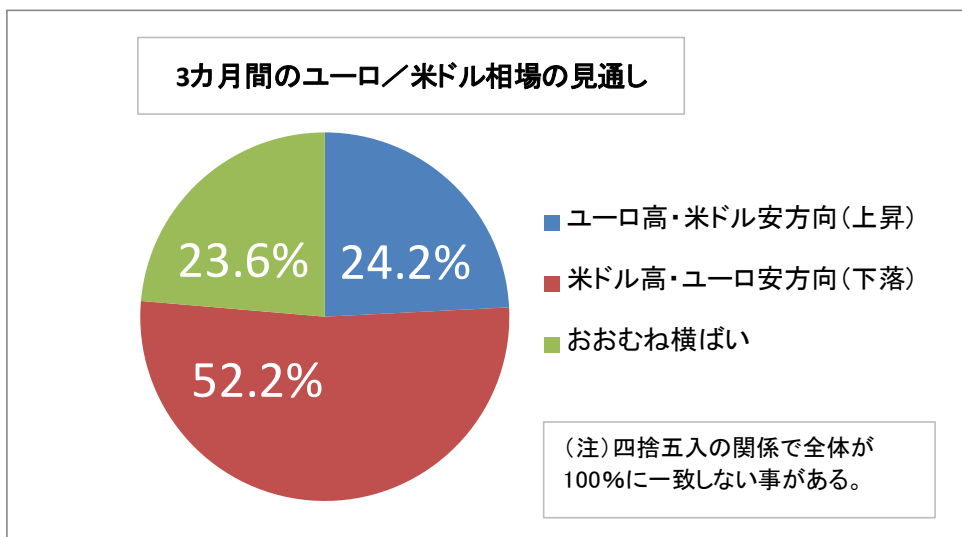
※これまで毎回更新してまいりました【FX取引の際の取引保証金の額】【現在の[実効レバレッジ]で最も近いもの】【一度に注文する注文数量で最も近いもの】に関しましては、書籍「外為白書」(10月頃刊行)へ掲載予定です。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

**問6: 今後3カ月間のユーロ/米ドル相場の見通しについてお答えください(ひとつだけ)
また、その理由もお聞かせ下さい**

今回の特別質問項目として、今後3カ月間のユーロ/米ドル相場見通しについて尋ねたところ「米ドル高・ユーロ安方向」との回答が52.2%にのぼり、「ユーロ高・米ドル安方向」は24.2%にとどまった。ユーロ/米ドル相場は、調査期間中に1.14669ドルまで上昇して3月に付けた安値から約1000ポイントも切り返したが、個人投資家はこうした戻りを一時的なものとしており、先安感を維持している事がわかった。なお、一般社団法人金融先物取引業協会がまとめた「店頭FX月次速報」によると4月のユーロ/米ドルの売買高は円換算で約100兆円と過去最大に膨らんだ。取引規模の面から、いまや無視することができない投資主体となった本邦の個人投資家が、中長期的にユーロ弱気・米ドル強気であるという点は、今後の相場展開にも影響を与える可能性がある。また、それぞれの見通しの理由について自由記述形式で尋ねたところ、「ユーロ安・米ドル高方向」とした向きからは米国の利上げとギリシャ問題の混迷を挙げる声が圧倒的に多かった。一方で、「ユーロ高・米ドル安方向」とした向きからも「ギリシャ問題が解決に向かうため」との声が数多く聞かれており、個人投資家がギリシャ問題の行方に強い関心を寄せている事が浮き彫りになった。

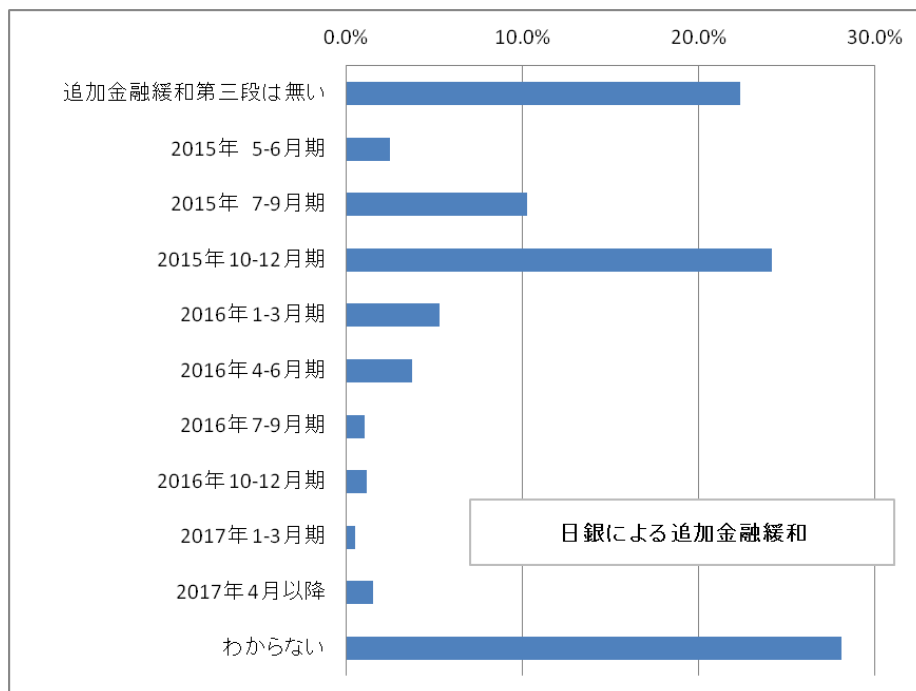


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問7: 日銀による追加金融緩和第三段の実施時期は？

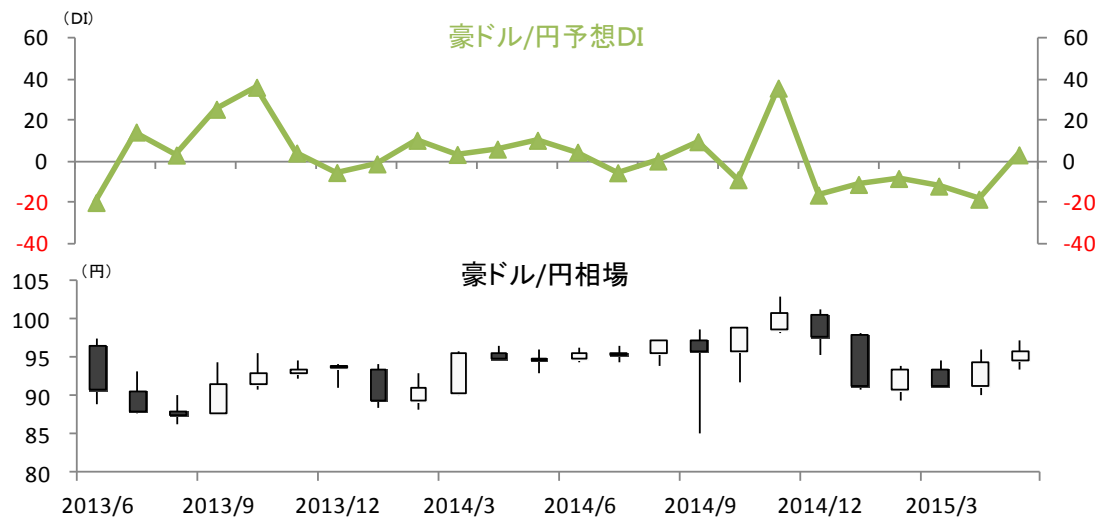
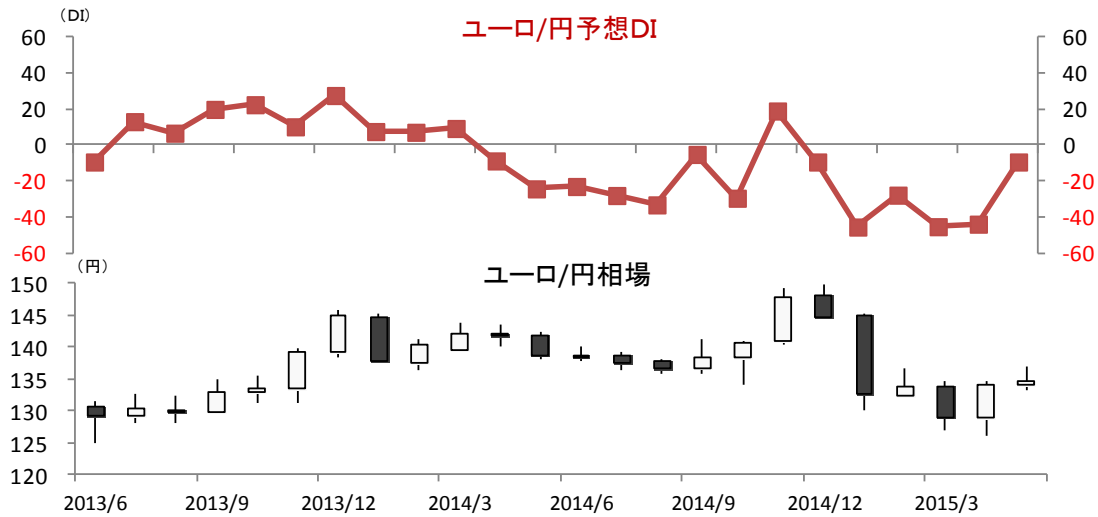
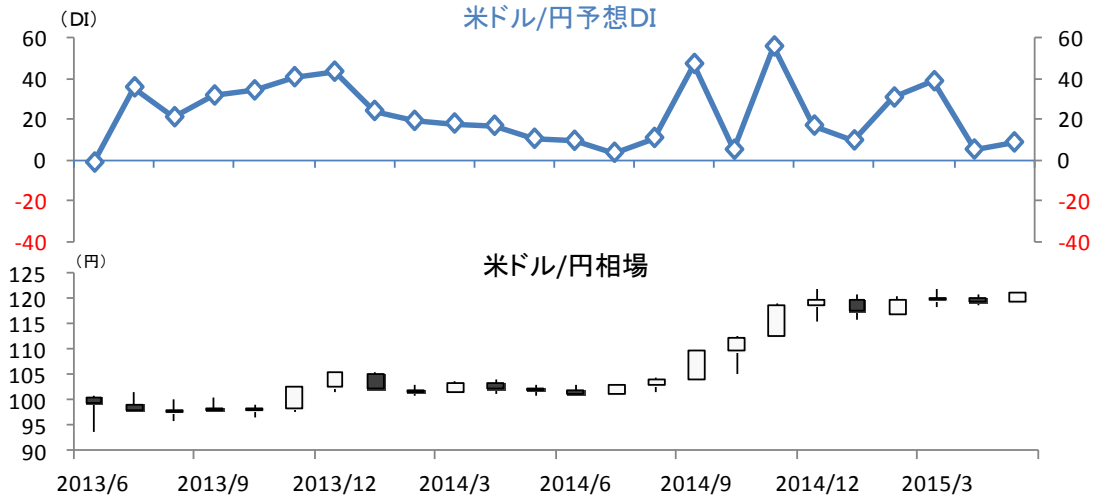
今回の特別質問項目として、「日銀による追加金融緩和第三段の実施時期は？」と尋ねたところ、「わからない」と答えた割合が28.1%と最も多かった。続いて「2015年10-12月」が24.1%、「追加金融緩和第三弾はない」が22.3%となり、上位3つで7割を超える回答を集めた。なお、以下「2015年7-9月」が10.2%、「2016年1-3月」が5.2%、「2016年4-6月」が3.7%と続いた。意外にも個人投資家の間では、株高・円安を促す追加緩和への期待はそれほど高くはない事が示された格好だ。株高はともかく、円安については輸入物価の上昇などから、日常生活のレベルではマイナス面の方が多いとの見方が少なくない。そうした「円安不要論」が回答に影響しているように思われる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと月足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第72回目となりました。調査開始から6年が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル／円			ユーロ／円			豪ドル／円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2013年	6月	37.5	38.8	-1.3	31.4	40.8	-9.4	28.2	48.3	-20.1
	7月	52.3	16.6	35.7	37.3	24.3	13.0	38.4	24.2	14.2
	8月	43.7	22.7	21.0	34.1	27.5	6.6	34.8	31.8	3.0
	9月	49.8	18.1	31.7	40.8	21.0	19.8	46.5	21.2	25.3
	10月	54.8	20.6	34.2	40.8	18.4	22.4	53.1	17.1	36.0
	11月	53.2	12.5	40.7	34.8	24.7	10.1	31.8	27.8	4.0
	12月	59.5	16.1	43.4	48.2	20.7	27.5	27.3	32.8	-5.5
2014年	1月	47.2	23.1	24.1	37.2	29.7	7.5	28.1	29.4	-1.3
	2月	41.7	22.5	19.2	35.3	28.2	7.1	36.5	26.3	10.2
	3月	41.9	24.0	17.9	38.7	29.5	9.2	34.8	31.5	3.3
	4月	41.4	24.6	16.8	25.7	34.5	-8.8	35.4	29.5	5.9
	5月	33.9	23.5	10.4	19.7	44.0	-24.3	34.2	24.0	10.2
	6月	31.1	21.7	9.4	20.1	43.1	-23.0	30.4	26.0	4.4
	7月	27.9	24.4	3.5	17.8	45.8	-28.0	26.7	32.3	-5.6
	8月	32.6	21.8	10.8	14.7	47.9	-33.2	27.8	27.7	0.1
	9月	64.8	17.6	47.2	28.0	33.2	-5.2	36.0	26.5	9.5
	10月	39.4	34.4	5.0	18.3	47.8	-29.5	27.1	36.1	-9.0
	11月	70.0	14.2	55.8	43.0	24.1	18.9	54.0	18.4	35.6
	12月	48.9	32.0	16.9	28.8	38.2	-9.4	26.9	43.4	-16.5
2015年	1月	39.3	29.7	9.6	15.1	60.6	-45.5	26.2	37.5	-11.3
	2月	46.8	16.1	30.7	19.7	47.5	-27.8	26.4	34.8	-8.4
	3月	52.3	13.6	38.7	15.2	60.5	-45.3	21.8	33.9	-12.1
	4月	31.4	26.3	5.1	15.1	59.0	-43.9	23.4	41.9	-18.5
	5月	29.1	20.5	8.6	31.0	40.4	-9.4	32.2	29.1	3.1

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2015 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com